

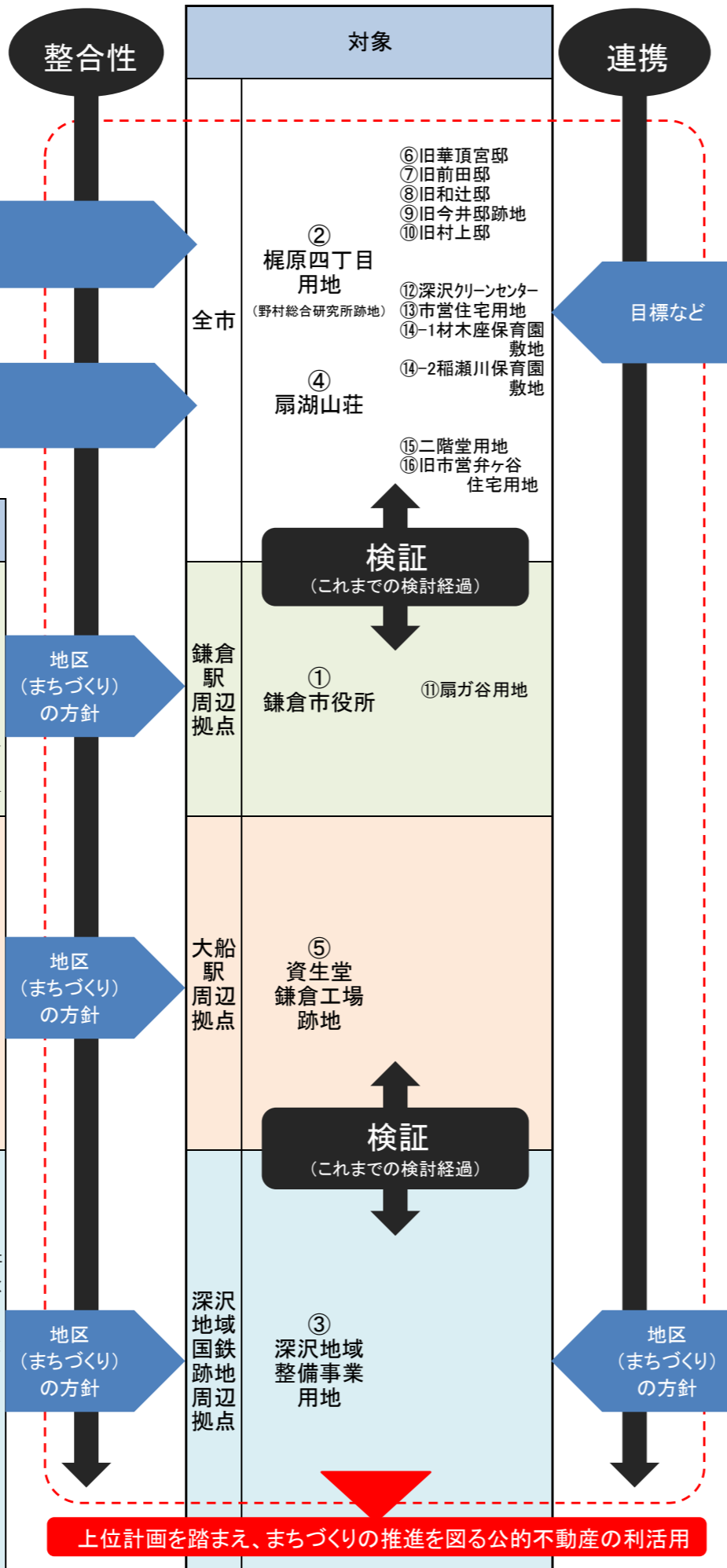
上位計画等との関係整理表

対象	第3次鎌倉市総合計画(基本構想)(平成8年3月)		鎌倉市都市マスタープラン(平成27年9月)				
	将来都市像	第3期基本計画(平成26年4月)		基本理念	まちづくりの新たな視点	都市構造の考え方	部門別方針
		基礎条件(土地利用 基本方針)	施策の方針				
全市	古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち	<p>●鎌倉らしさを継承する地域や、都市基盤を強化する地域、鎌倉の新たな魅力を創造していく地域など、それぞれの地域の個性を引き出す土地利用を図ります。特に、鎌倉地域周辺は、現存する歴史的自然的環境を保全し、歴史的遺産をさらに活用するとともに、古都保存法制定の経緯を踏まえた上で、周辺への景観や環境と一体となったまちづくりを進めます。</p> <p>●東日本大震災を踏まえ、津波対策、避難対策などを考慮し、災害に強い安全・安心なまちの実現を図ります。</p> <p>●利用区分ごとの方針 新たな土地利用の誘導を含め異なる土地利用の調和のとれた配置を実現します。また、必要な市街地整備を図り、特に基盤未整備地区においては、市民生活の向上をめざした整備を行います。 商業・工業系土地：市民へのサービスの提供、都市としての性格や税収のバランスの維持、新たな職住近接の実現を図るため、商業や工業系土地の維持を図るとともに、適切な土地利用への誘導を図ります。また、観光都市としての性格も考慮し、観光施設や文化施設等、鎌倉を楽しむための土地利用を誘導します。</p>	<p>【歴史風土の保存】 ②歴史的遺産と一体的に構成される山稜部の保存管理 歴史的遺産と一体的に構成される山稜部について、関係機関等との連携・調整を図り、保存管理に努めます。</p> <p>【地震対策・風水害対策の充実】 ①総合的な防災体制の強化 総合的な防災体制の強化を図るため、市民はもとより、観光客も視野に入れ、避難所(ミニ防災拠点)をはじめとした防災施設・設備の充実整備を図るとともに、食料、飲料水等の備蓄を進めます。</p> <p>【市街地整備の推進】 ①都市マスタープランの推進 都市構造の主要な要素である市街地構造・土地利用、緑、交通、防災、拠点・ゾーン(拠点を結ぶ将来の都市構造上、重要な地区、新たな可能性のある地区)及び時代背景や震災復興を踏まえた将来都市像(都市マスタープラン)の実現に向け、関係機関との連携をはじめ、市民、事業者、NPO等と協働したまちづくりを推進します。</p> <p>【商工業振興の充実】 ②商業環境の整備 製造業や新規成長産業(医療福祉関連、生活文化関連、情報通信関連、新製造技術関連、環境関連など)の企業が事業展開しやすい環境の整備に努めます。</p>	<p>基本理念</p> <p>まちづくりの新たな視点</p> <p>都市構造の考え方</p> <p>【緑で分節化された市街地構造の維持】 ①市街地を分節する緑の構造の維持と強化 (2)新たに創る緑の軸 市街地を貫く緑(鎌倉地域の市街地を貫く緑、大船・深沢を結ぶ緑)、新たな開発で生み出す緑(大船駅周辺、深沢地域国鉄跡地周辺)、海岸を縁取る緑などを新たに創出し、保全する緑とのネットワークを作ります。 ②分節化された市街地単位の整備 ③現況の市街地の規模、土地利用の継承</p> <p>【安全で活力ある都市空間の形成】 ②ゾーンの整備 (3)大船・深沢ゾーン 大船・深沢の両拠点の整備などに伴い、拠点間の工業系土地利用の高度化や複合的機能の立地などが予想されます。これらを適切に誘導すると共に、必要な基盤整備や川沿いの緑化の推進などを行います。 ③産業・観光・文化空間の整備 拠点整備や海沿いのまちの創生等において、産業機能や観光・文化機能の導入を図ります。また、空き家となっている邸宅を活用するなど各地域において地域資源をいかした産業・観光・文化を整備します。産業・観光・文化空間を適切に誘導することによって、市民の生活空間との共生を図ります。 ④防災・減災空間の整備 分節化された市街地の特性を踏まえ、それぞれの地域ごとに自立型の防災市街地空間の形成を図ります。また、災害による孤立化への対応として、交通手段の確保等に努めます。津波対策については、現行の土地利用の維持を基本として、浸水想定区域内の避難の迅速化を図り、津波のレベルに区分した防災・減災対策を行います。</p>	<p>部門別方針</p> <p>【土地利用の方針】 1)基本は現況土地利用の維持保全 都市マスタープランの計画期間においては、本市の特性やまちづくりの動向から、全市的には現況の土地利用を維持保全していくことが適切と考えられます。そのため、現況の市街地類型をベースに将来の土地利用を想定します。 ただし、拠点整備や基盤整備が予定されていて、土地利用のポテンシャルが大きく変わると予想される一部の地区や、大きな改善が必要な地区については、新たな土地利用の誘導や土地利用の変化を見込みます。また、津波による危険の著しい地区については、今後精査を図ります。 (2)土地利用の転換が予想される地区または土地利用の転換を誘導する地区 以下の地区については、土地利用の転換を見込みます。 ①拠点地区 ア、大船駅周辺地区 イ、深沢地域国鉄跡地周辺地区 ②大船・深沢ゾーン(大船駅と深沢地域国鉄跡地周辺に挟まれた地区) ア、東海道本線、栢尾川沿いの地区 ④津波による浸水が想定される区域 神奈川県による津波浸水想定等を踏まえ、津波防災の観点に基づく土地利用を検討します。 2)秩序ある土地利用の実現と良好な市街地環境の形成 新たな土地利用の誘導も含め、住宅系土地利用、商業系土地利用、工業系土地利用等異なる土地利用の調和の取れた配置を実現します。また、良好な市街地環境が形成されるよう、必要な市街地整備を図り、特に基盤未整備地区においては、市民生活の向上を目指した整備を行います。 (2)商業・産業(工業)系土地利用の維持・誘導 市民へのサービスの提供、都市としての性格や税収のバランスの維持、新たな職住近接の実現を図るため、商業や産業系土地利用の維持を図ると共に、適切な土地利用への誘導を図ります。また、観光都市としての性格も考慮し、観光施設や文化施設等、鎌倉を楽しむための土地利用を誘導します。 (3)新たな都市機能の導入 拠点整備地区では、新たな活力や魅力を生み出す土地利用を誘導すると共に、市民生活をより豊かにするような適切な都市機能の充実を図ります。</p>		
鎌倉駅周辺拠点		<p>●鎌倉駅・大船駅周辺は、地域の特性を生かした都市拠点として整備していきます。</p>	<p>【市街地整備の推進】 ③鎌倉駅周辺地区の都市整備 (1)鎌倉駅周辺地区では、豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を生かし、市民・来訪者が快適に共存できる、風格と活力ある古都鎌倉の玄関口の再生・創造をします。 (2)鎌倉駅西口周辺地区では、駅前広場等の整備の実現に努めます。</p> <p>【駐輪対策の推進】 ①駐輪対策の推進 (1)鎌倉駅及び大船駅周辺で、関係機関との調整により、恒久的な駐輪場整備を進めます。</p>	<p>(1) 鎌倉ならではの空間文化の再構築</p> <p>(2) 防災・減災まちづくり、安全・安心まちづくり</p> <p>(3) 環境共生まちづくり</p>	<p>【安全で活力ある都市空間の形成】 (1)鎌倉駅周辺拠点 鎌倉地域の中心及び生活拠点として、歴史的遺産、商業・観光、公共・文化等の資源をいかにしながら、さらに機能を充実し景観の整備を図ります。</p>	<p>【拠点とゾーンの整備方針】 1)鎌倉駅周辺地区 (1)考え方 鎌倉地域の中心市街地として、社寺等の歴史的遺産や公共公益施設の集積をいかした、修景的な整備を図ります。 (2)整備の方向性 ①景観整備 ・景観地区の指定を踏まえた、良好な都市環境、都市景観の創出 ・歴史的環境の保全、活用 ③商業基盤、観光基盤整備 ・歴史的環境と調和した商業及び観光基盤の充実 ・歩行環境の改善、まち並みの形成、公共トイレの改善など、来訪者をもてなす快適な環境整備の推進</p>	
大船駅周辺拠点		<p>●鎌倉駅・大船駅周辺は、地域の特性を生かした都市拠点として整備していきます。</p>	<p>【市街地整備の推進】 ④大船駅周辺地区の都市整備 (1)大船駅周辺地区では、「大船駅周辺地区都市づくり基本構想」に基づいて、市民・事業者・大学・NPO等と協働して、大船駅直近、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、南部の各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進します。 (2)東口駅前では、道路施設、商業施設などの都市機能の強化と都市防災機能の向上を図るため、大船駅東口市街地再開発事業を進めます。 (3)西口駅前では、横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の廃止を含めた取り扱いについて、県、横浜市と協議を進めます。</p> <p>【駐輪対策の推進】 ①駐輪対策の推進 (1)鎌倉駅及び大船駅周辺で、関係機関との調整により、恒久的な駐輪場整備を進めます。</p>	<p>(4) 暮らしのサポート(高齢者支援、子育て支援)</p> <p>(5) 海沿いのまちの創生</p>	<p>【安全で活力ある都市空間の形成】 (2)大船駅周辺拠点 交通結節点である大船駅周辺は、本市の広域拠点及び東海道本線沿いの生活拠点として位置付け、横浜市と連携し、広域的な商業・業務、産業、文化などの機能の充実と基盤整備を図ります。</p>	<p>【拠点とゾーンの整備方針】 2)大船駅周辺地区 (1)考え方 大船駅の交通結節性と地域の個性をいかし、活力に溢れ、豊かな生活文化を創造し発信するまちを目指します。そのため、商業拠点の形成と都市機能の強化によるにぎわいの創出と、安全、安心で暮らしやすさと快適さを備えた魅力ある都市環境の創造を図り、大船全体の魅力と拠点性を高めます。 (2)整備の方向性 ①大船駅圏域の拡大 大船駅の交通結節性の強化やアクセス道路の整備、地区の再開発などにより、集客性や拠点性の向上を図ります。 ②バランスのある都市整備の推進 横浜市及び本市が協調・協力しながら、芸術館通り周辺(中央地区)、芸術館通りの北部地区及び南部地区の各地区のバランスのある都市整備とこれらの連携強化を図ります。 ⑤生活文化都市としての“大船”ブランドの確立 下町のようににぎわいや親しみやすさと、古都鎌倉の玄関口としての役割、鎌倉芸術館を中心とする文化及び教育環境をいかして、新たな大船の魅力を創出し、大船ブランドの確立を目指します。 (3)主要な都市(まち)づくり事業 ・大船駅東口第一種市街地再開発事業(第2地区) ・大船駅北第二地区第一種市街地再開発事業(横浜市)</p>	
深沢地域国鉄跡地周辺拠点	<p>●深沢地域国鉄跡地周辺における土地利用は、都市基盤の強化や、多様な機能の導入により、新しい都市拠点として整備していきます。</p>	<p>【市街地整備の推進】 ⑤深沢地域国鉄跡地周辺の都市整備 深沢地域国鉄跡地周辺では、鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の新しい拠点の創造をめざし、少子高齢社会への対応をはじめとした多様な都市機能の導入を図りながら、都市拠点の実現に努めます。</p>	<p>(6) 次世代産業まちづくり</p>	<p>【安全で活力ある都市空間の形成】 (3)深沢地域国鉄跡地周辺拠点 東海道本線新駅構想を視野に入れながら、大船駅周辺との役割分担・機能分担に留意し、また、これまで行われてきた委員会等での検討内容を踏まえた公共公益施設、都市型住宅、商業、業務、産業などの機能の充実及び基盤整備を進め、鎌倉の新しい拠点として整備を図ります。</p>	<p>【拠点とゾーンの整備方針】 3)深沢地域国鉄跡地周辺地区 (1)考え方 「健康生活拠点・深沢」をまちの将来像とし、市民を始め、そこで暮らし、働き、学び、訪れる人たちが、健康で快適な生活を送るための拠点とします。「鎌倉市公共施設再編計画」(平成27年3月)と調整を図りながら、さまざまな機能の集積と連携の中から優れた環境を創造し、豊かなライフスタイルの提案、新しい鎌倉ブランドの発信につながる、総合的な健康社会を先取りしたまちの実現を図ります。 (2)整備の方向性 ①人々が集まり活気のあるまちの実現 交通利便性等の地区のポテンシャルをいかにしながら、商業、居住、教育等のさまざまな機能の導入を図り、多様な人が集まり住もう、活気に満ちたにぎわいと個性のある拠点を形成します。 ③地域資源をいかした緑・水の豊かなまちの実現 斜面緑地や栢尾川等の周辺の自然環境や立地等の歴史資源をいかにしながら、深沢らしさを感じられる新たな緑と水環境を創出します。 ⑤公民連携により育てるまちの実現 行政主導ではなく、住民、民間事業者等がまちづくりに係わり、まちづくりを継続していくことのできるシステムを構築し、新しいまちづくりを実現・発信しながら、みんなでまちを育てていきます。 (3)主な導入機能 整備にあたっては、関係機関等と調整をしながら、事業計画の策定を進めていきます。また、新たな拠点の形成を図るために、市有地やJR大船工場跡地等を中心とした「面整備ゾーン」に次の機能の導入について検討します。 ・公園・広場 ・総合情報センター的機能 ・保健・医療・福祉関連機能・スポーツ関連機能(総合体育館等) ・交通結節機能 ・都市型住宅 ・都市型産業・研究・研修機能 ・商業・業務機能 ・都市・生活サービス機能 ・文化・教育機能</p>		

※ 上位計画等から公的不動産の利活用に関連する部分を中心に抜粋して整理したものです。

上位計画（総合計画・都市マスタープラン・公共施設再編計画など）

都市整備構想	
<p>古都中心市街地まちづくり構想（平成12年8月） 【まちづくりの基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の歴史都市にふさわしい風格と風光にあふれるまち ○豊かな自然と固有の文化を守り 育み 活かすまち ○安全に過ごせる住環境と、安心して暮らせるコミュニティのまち ○賑わいとふれあいを大切にする活力に満ちたまち ○来訪者をあたたかく迎え、心地よく送るまち <p>【まちづくりの方針】</p> <p>テーマ別く土地利用・市街地整備 将来の暮らしを見据えた計画的なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●古都中心市街地の「顔」づくり ●公的資産の創造的活用・再編整備 ●土地の有効活用 <p>ゾーン別く鎌倉駅西ゾーン「新たな拠点深沢とを結ぶ西の玄関口：新しい鎌倉の歴史と文化の拠点ゾーン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみのある駅前広場及び周辺の整備 ・御成小学校や市役所等公共施設用地を活用し未来に向けた新しい鎌倉の歴史と文化の拠点づくり 	<p>大船駅周辺地区都市（まち）づくり基本構想（平成6年7月） 【地区の将来像】</p> <p>商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち 活気に溢れ、くらしに文化の香りがただようまち 優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち</p> <p>【基本的考え方】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大船圏の拡大 (2) 大船駅直近地区と鎌倉芸術館周辺の2つの核による都市（まち）づくり (3) バランスある都市整備の推進 <p>大船駅周辺地区都市（まち）づくり基本計画（案）（平成8年2月） 【鎌倉芸術館周辺地区のまちづくり】</p> <p>鎌倉芸術館周辺地区では、地区内の大規模用地の土地利用転換等にあわせ、都市基盤施設の整備や賑わいをももたらす都市空間の演出、歩行者・緑地空間（アーバンモール）などの都市環境の整備を進めます。</p> <p>【土地利用等の方向】</p> <p>研究・開発・生産ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産系の大規模工場から研究・開発系へ向けた機能更新にあわせ、地域に開かれた施設整備を誘導していきます。
<p>深沢地域の新しいまちづくり基本計画（平成16年9月） 【基本理念】</p> <p>住宅・商業・工業等が共存し、健康な暮らし、ゆとりある心、人間らしいふれあい、地域の活力を生み出す『健やかで活力ある都心』、緑と水に囲まれた『輝く都心の都心』の創造をめざします。</p> <p>～「人・都市・社会にとって非常に好ましい総合的な健康社会」をめざし、まちづくりのテーマは『ウェルネス』とします。～</p> <p>【目標】</p> <p>深沢地域の歴史と文化のもと、未来に向けて発信する新しい拠点づくり 住まいと暮らしを計画の中心にすえ、助け合い、支えあえる暮らしのしくみを築く 災害や犯罪に強い、安全で安心な都市をめざすと同時に、緑と水辺空間を都市の骨格とした循環型のまちを創る</p> <p>21世紀にふさわしい都市型産業の発展とIT化まちづくりをめざす まちをプロデュースする</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旧国鉄清算事業団用地を核として、適正な土地利用の配置を図る 2. 広域ネットワーク及び大船・鎌倉の拠点間のネットワーク化を念頭に、拠点機能の向上並びに生活利便性の向上を図る 3. 自然・歴史的遺産を活かす 4. 環境に配慮したまちを形成する 5. 地域特性を活かした景観づくりと拠点イメージを高める景観づくり 	



鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月）		
基本理念	基本目標	基本的方向・具体的な施策など
<p>住みたい・住み続けたいまち鎌倉 働くまち鎌倉</p>	<p>1 鎌倉市における安定した雇用を創出する</p>	<p>（基本目標1の基本的方向）</p> <p>1 創業支援・企業立地支援を行います 【具体的な施策】 本市は、都心のベッドタウンとして、市外で就労する市民が多い状況にあります。そのため、通勤時間が長く、子育てと就労の両立がしにくい状況にあります。この点を踏まえ、職住近接性を高めるため、ベンチャー企業等のスタートアップに係る創業支援や市内を拠点とする企業の立地支援などの取組を進めます。</p> <p>3 様々なライフステージ、キャリア等に応じた就労環境を整備します 【具体的な施策】 本市の女性は、正規雇用率が高い状況にあります。その一方で、市内の子育て家庭の女性は、パート・アルバイトなど、短時間勤務や柔軟な就業形態を希望する面もあります。この点を踏まえ、様々なライフステージ、キャリア等に応じた就労環境の整備に向けた取組を進めます。</p>
	<p>2 鎌倉市の魅力に磨きをかけ、新しいひとの流れをつくる</p>	<p>（基本目標2の基本的方向）</p> <p>1 豊かな生活を享受できる居住環境を維持しつつ、住宅環境を整備します 【具体的な施策】 人口構造の若返り化に向け、若年層の転入を促進するには、暮らしやすく、豊かな生活を実感できる環境整備が必要です。この点を踏まえ、豊かな生活を享受できる居住環境を維持した住宅環境を整備します。</p> <p>3 文化の継承・創造・発信を行います 【具体的な施策】 本市は、先人から引き継がれた貴重な歴史的遺産や豊かな自然環境とともに、進取の気性に富んだ感性豊かな市民が、時代に即した文化を創造し、まちの個性を築いてきました。この点を踏まえ、今後もより一層の文化の継承・創造・発信に向けた取組を進めます。</p>
	<p>3 鎌倉市で結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p>	<p>（基本目標3の基本的方向）</p> <p>1 安心して、結婚・出産ができる環境づくりを目指します 【具体的な施策】 本市は、女性の未婚率・平均初婚年齢が高く、合計特殊出生率が低い状況にあります。この点を踏まえ、安心して、結婚・出産ができる環境づくりに向けた取組を進めます。</p> <p>3 子育て支援を行います 【具体的な施策】 人口減少に歯止めをかけるためには、人口の社会増の維持だけでなく、出生率の向上による自然増への転換が求められます。この点を踏まえ、子育てに対する不安の解消を図るため、子育て支援に関する取組を進めます。</p>
	<p>4 次世代に続く鎌倉を創出する</p>	<p>（基本目標4の基本的方向）</p> <p>1 生活しやすい市街地を形成します 【具体的な施策】 雇用環境や居住環境の整備だけでなく、新たなまちの姿を構築していくことも、鎌倉を次世代に繋げていくための重要な取組になります。この点を踏まえ、生活しやすい市街地の形成に向けた取組を進めます。</p> <p>3 健康寿命の延伸を図ります 【具体的な施策】 単に人口構造の若返り化を図るのではなく、今、本市で生活している人が、今後も健康で幸福に生き続けることができる環境を確保する必要があります。この点を踏まえ、健康寿命の延伸に向けた取組を進めます。</p>
<p>4 次世代に続く鎌倉を創出する</p>	<p>（基本目標4の基本的方向）</p> <p>1 生活しやすい市街地を形成します 【具体的な施策】 雇用環境や居住環境の整備だけでなく、新たなまちの姿を構築していくことも、鎌倉を次世代に繋げていくための重要な取組になります。この点を踏まえ、生活しやすい市街地の形成に向けた取組を進めます。</p> <p>【実施する事業】</p> <p>1) 深沢地域のまちづくり 深沢地域国鉄跡地周辺では、鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の新しい拠点の創造を目指し、少子高齢化社会への対応や、雇用の場の創出、住環境の整備といった多様な都市機能の導入を図りながら、都市拠点の実現に努めます。</p>	<p>2 事業活動の継続と就職を支援します 【具体的な施策】 本市は、昼夜間人口比率の高い産業構造を有しており、日中、市外から通勤する人が多い状況にあります。その一方で、市民が市内で就労できない状況にあります。この点を踏まえ、事業者の活動の継続・拡大に向けた支援及び就職支援に向けた取組を進めます。</p> <p>2 観光振興やシティプロモーション等により、さらなるブランド力の向上を図ります 【具体的な施策】 本市は、年間を通じて多くの観光客が訪れるまちです。さらに、幅広い世代の観光客が多様な目的を持って訪れるとともに、繰り返し訪れる観光客が多いという特徴もあります。この点を踏まえ、観光振興やシティプロモーション等により、訪れたい、住んでみたいまちとしてのブランド力を高めます。</p> <p>4 貴重な歴史的遺産を保存し、豊かな自然環境を保全します 【具体的な施策】 本市は、歴史的遺産と周囲の自然環境が一体をなしたまち並みが保存され、その魅力により、居住意向を持つ方が多い状況にあります。この点を踏まえ、国・県と連携して、貴重な歴史的遺産の保存、豊かな自然環境の保全に向けた取組を進めます。</p> <p>2 職場におけるワーク・ライフ・バランスを向上させます 【具体的な施策】 共働き世帯でのライフスタイルを想定し、子育てしながら働くことができる環境の整備が求められます。この点を踏まえ、職場におけるワーク・ライフ・バランスの向上に向けた取組を進めます。</p> <p>4 教育環境の充実を図ります 【具体的な施策】 未来を拓く「生きる力」を育み、子どもも大人も共に学ぶ「共育」を進めるため、さらなる教育環境、教育内容の充実に向けた取組を進めます。</p> <p>2 安全で快適な道路・交通体系を整備します 【具体的な施策】 快適な生活を送るためには、休日の渋滞対策等、本市の特性に合わせた日常の交通環境の改善が求められます。この点を踏まえ、安全で快適な道路・交通体系の整備に向けた取組を進めます。</p> <p>4 地域コミュニティの活性化を図ります 【具体的な施策】 しごとづくり、ひとづくり、まちづくりに向けには、地域力を高め、地域で担える部分は地域で担う環境を整える必要があります。この点を踏まえ、地域コミュニティの活性化を図り、地域力の向上に向けた取組を進めます。</p>

※ 上位計画等から公的不動産の利活用に関連する部分を中心に抜粋して整理したものです。